



大前 裕也 議員
(加西維新の会)

下里地区にスーパーマーケットの誘致を



問 下里地区のまちづくりの方向性について。

答 農業集落と北条鉄道が走る、ふるさと感じる風景を守りつつ、姫路市や加古川市に近い優位性を生かし、規制緩和により産業を活性化させて市外からの通勤者を増やすとともに、空き家の活用を含めて移住・定住を促進し、地域の持続可能性につなげたいと考えます。

問 まちづくりの実現に向けた課題は。

答 市内共通の課題は、都市計画と農地における過度の土地利用規制です。下里地区では、2町で地区計画を定めるなど、市内でもより積極的な土地利用の規制緩和を行っています。区域区分の廃止により、県内でも規制緩和の先駆けとなるようなまちづくりを進めたいと考えています。

問 下里地区の食品スーパー跡地について、地元では以前のようにスーパーができることを希望されている。市の考えは。

答 下里地区から要望を受けている食品スーパー跡地における再誘致について、市街化調整区域であるため店舗の建築ができないことから、令和4年10月に西笠原町地区地区計画を決定し、土地利用規制を緩和することにより、誘致活動を可能にしました。

その後、自治会と共同で、開発事業者と地権者の協力を得ながら1年半誘致活動に取り組んできましたが、今のところ成果は出ていません。誘致において少しでも有利な条件にするため、地区計画の店舗の床面積を、現行の最大1,500平米から3,000平米へ引き上げることを検討しています。この規制緩和が店舗誘致につながることを期待しています。

問 食品スーパー跡地への出店の希望の声を聞いているが、市長のお考えは。

答 (市長) 規制緩和の方向で進めていますので、それに合致する形で出店していただけるなら非常にありがたいことだと思います。これからも規制緩和に向けて力を注いでいきたいと思っています。



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

将来を担う加西市民、住民のために



市長施政方針について

問 主要な政策の1つである「農業の再生と活性化」について、市内に道の駅のような、農産物販売の場所が必要では。

答 市内にはかさい愛菜館のほか、ブドウの生産者直売所などがあります。愛菜館の会員である生産者も多く、順調に売上げ、来客数を伸ばしていますが、午前中で売り切れて午後には商品が少なく、農産物を追加搬入する生産者がいない状況が続いています。販売箇所を増やしてほしいという要望は聞いていますが、それよりも、生産者の高齢化や後継者不足

への対応、生産者確保に重点を置いた施策を進めたいと考えます。

問 市外からの関係人口を増やすためにも、農業市として、市の農産物を重点に置いた販売所を設ける施策が重要では。

答 ブドウやイチゴなど生産農家が設置する直売所のマップを作成し、市内外から購入を希望される方に来ていただけるよう取り組んでいきます。

学校再編について

問 加西市ならではの小中一貫教育について。

答 これまでも、小中一貫教育や小中連携により学校間交流を進めていますが、さらに充実させていきます。また、近隣市等で進めている小中一貫教育のメリットを吸収していこうと考えています。加西の教育3本の矢、加西BASE・STEAM・GLOBALを

中心に据え、学力の向上と中1ギャップの解消、教職員の指導力の向上等を主なテーマとし推進していきます。

問 小規模特認校についての市の考えは。

答 小規模特認校や小規模学校を望む声は大きくないと受け止め、設置は考えていません。

問 (仮) 泉統合小学校整備の今後について。

答 宇仁小学校の統合の結論が間に合わない場合も、いつでも4校が一緒になれる受皿を用意していきます。2月の3者協議では、子供たちが非常に不安な状況となっているため、3月までに答えを導き出し、4月に一緒に準備委員会に入っていただくことが可能であれば、その方向で進めることとなっています。今後の状況を見定めながら進めていきます。